

小学校4年生以降の長期休業期間中の過ごし方について

提案内容	<p>このたび4年生になる我が子は、小学1年から3年まで通年・長期休業ともに放課後児童クラブを利用していました。しかし、来年度は利用不可との通知を受けました。この通知については、やむをえないものと理解しました。</p> <p>ただ、実際に長期休業をどう過ごすか考える中で色々と思うところが出てきたため、今回提案させていただきます。</p> <p>4年生以降の長期休業の過ごし方について周りの保護者に話を聞くと、多くは家で子どもだけで過ごす、そしてその過ごし方についてはゲームをするなどして1日過ごすとのことでした。これらの話を聞き、私は長期にわたり児童が人と接することなくゲームをするなどして1日過ごすという現状は、心身共に健康的とは言い難いと感じました。長期的にこういった過ごし方をしていれば、生活リズムが乱れたり学校に気持ちが向きにくくなったりすることが想定できます。令和2年度の「雲南市の教育」を拝見しましたが「第4次雲南市教育基本計画の概要」に課題として「不登校児童生徒数の割合が依然として高い実態」が挙げられていることから、具体的な策が必要であると感じます。</p> <p>そこで、私は雲南市でなされている取組について調べました。すると「放課後子ども教室事業」の中に、主に週末や長期休業時を活用した教室として「うんなん元気っ子わくわく教室」の取組があることが分かりました。ただし「10から12時」「14から16時」（夏休みのチラシより）という時間帯に設定されており、働いている親にとっては到底送り迎えができません。つまり、この取り組みは長期休業中に保護者が家にいない児童にとっては参加しにくい事業であると言えます。とすれば、長期休業中に保護者が家にいない4年生以上の児童が日常的に過ごすことのできる場はないため、前述したように家で1日過ごすということになります。</p> <p>そこで私は、放課後児童クラブの定員を増やす、もしくはそれとは別に長期休業時に4年生以上が利用できる場をつくるという提案をします。実際に、我が家と同じように希望したにも関わらず児童クラブの利用ができず特に長期休業について不安を抱いている保護者や子どもが多くいます。私は、雲南市は教育が市政の柱に据えられており、子育てに優しい町であると実感しています。ぜひご検討いただき、子どもが安心して過ごせる、子どもを安心して育てられる雲南市であることを願っています。</p>
回答	<p>放課後児童クラブにつきまして、入所選考の際、定員を上回る申し込みがあった際には、入会選考基準に基づき、入所の調整をさせて頂いています。</p> <p>令和5年度については、一部のクラブで4年生以上の利用申し込みを調整させて頂きました。</p> <p>ご提案いただきました、定員の拡大ですが、施設規模による制限や、職員体制等により、直ちに実施するのは困難ですが、対象小学校の規模に見合った定員となるよう、受け入れ環境の整備や職員確保等に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（回答部署：子ども政策局 子ども政策課）</p> <p>雲南市では、子どもたちが市内の施設や観光地を訪問し、いろいろな体験や学習ができるよう、「雲南市内小中学生限定！ワンコイン市民バス乗り放題パスポート」を市内4ヶ所（大東体育館、ラメール、チェリヴァホール、アスパル）にて販売しています。</p> <p>これは、子どもたちが休日や長期休業期間中に自主的且つ活発な活動ができるよう、また有意義な休みの過ごし方に繋がるようにとの思いから実施している事業で、500円で市民バスが1年間（4/1～3/31）利用できるパスポートでございます。わくわく教室への参加に限らず、図書館やプール等へ行かれる際にもご利用できますので、ご検討ください。</p> <p>また、市内各地域自主組織においても、夏休みには工夫を凝らしたイベントや学習会を実施されておりますので、このようなイベントへもご参加いただきながら、有意義な夏休みをお過ごしいただきたいと考えます。</p> <p style="text-align: right;">（回答部署：教育委員会 キャリア教育政策課）</p>